学長定例記者会見要項

日　　時：　令和３年11月４日（木）　１１：００～１１：４５
場　　所：　法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟３階）

発表事項

１．地域にお住まいの皆様に向けたサービスの開始
～健康と学びのサポートセンター設立＆エクステンションぷらす開講記念イベント～

２．本学学生が最新AI翻訳エンジンの開発に貢献
～卒業生が経営する企業からの受託事業を実施～

３．JST　STARTプログラムに採択されました
～印刷プロセスによる有機ELパネルの少量多品種化～

４．戦略的国際共同研究プログラム（SICORP）
【日本－ヴィシェグラード４か国（Ｖ４）共同研究】に採択
～５か国間の国際共同連携を通じてペロブスカイト量子ドット型X線検出器の開発～

５．医療用フェイスシールド付き高演色LEDヘッドランプを開発
～学内連携による医療用途への応用に期待～

６．太宰治の名作 東北６県の高校生 朗読競う
～第14回山形大学高校生朗読コンクール審査結果発表～

７．第49回山形大学模擬裁判公演のお知らせ
～同性婚訴訟、あなたはどう考える？～

お知らせ

１．東日本重粒子センターがオンラインセミナーを開催
～重粒子線がん治療と地域経済を考える～

２．2021 年度「奥の細道マイスター養成講座【教養講座】」受講者募集

３．令和３年やまがたハイブリッド環境展に参加
～山形大学の３Ｒワークショップを開催～

（参　考）
○ 次回の学長定例記者会見（予定）
日　時：令和３年１２月２日（木）１１：００～１１：４５
場　所：法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟３階）

学長定例記者会見（11 月 4 日）発表者

１．地域にお住まいの皆様に向けたサービスの開始
～健康と学びのサポートセンター設立＆エクステンションぷらす開講記念イベント～

山形大学健康と学びのサポートセンター長　中西（なかにし）　正樹（まさき）
山形大学エクステンションサービス推進本部 統括責任者　是川（これかわ）　晴彦（はるひこ）

２．本学学生が最新AI翻訳エンジンの開発に貢献
～卒業生が経営する企業からの受託事業を実施～

学術研究院　教授（英語学）　鈴木（すずき）　亨（とおる）
トランスユーロ株式会社　代表取締役社長　井口（いのくち）　雄一（ゆういち）

３．JST　STARTプログラムに採択されました
～印刷プロセスによる有機ELパネルの少量多品種化～

学術研究院（有機エレクトロニクスイノベーションセンター担当）教授　硯里（すずり）　善幸（よしゆき）
学術研究院（有機エレクトロニクス）　教授　城戸（きど）　淳二（じゅんじ）

４．戦略的国際共同研究プログラム（ＳＩＣＯＲＰ）
【日本－ヴィシェグラード４か国（Ｖ４）共同研究】に採択
～５か国間の国際共同連携を通じてペロブスカイト量子ドット型X線検出器の開発～

学術研究院　助教（発光ナノ結晶・デバイス）　千葉（ちば）　貴之（たかゆき）
山形大学有機材料システムフロンティアセンター長　城戸（きど）　淳二（じゅんじ）
学術研究院　教授（機能物性化学）　増原（ますはら）　陽人（あきと）

５．医療用フェイスシールド付き高演色LEDヘッドランプを開発
～学内連携による医療用途への応用に期待～

山形大学有機材料システムフロンティアセンター長　城戸（きど）　淳二（じゅんじ）

６．太宰治の名作 東北６県の高校生 朗読競う
～第14回山形大学高校生朗読コンクール審査結果発表～

学術研究院　教授（日本文学）　山本（やまもと）　陽史（はるふみ）

７．第49回山形大学模擬裁判公演のお知らせ
～同性婚訴訟、あなたはどう考える？～

第 49 代模擬裁判実行委員会委員長　菅野（かんの）　光平（こうへい）
第 49 代模擬裁判実行委員会脚本部長　岩崎（いわさき）　高紀（こうき）
第 50 代模擬裁判実行委員会委員長　佐々木（ささき）　裕紀（ゆうき）

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学 Yamagata University

令和３年（2021 年）11 月４日

地域にお住まいの皆様に向けたサービスの開始

健康と学びのサポートセンター設立＆エクステンションぷらす開講記念イベント

【本件のポイント】

- 本学が所有する施設の有効利用を念頭に、「健康」をキーワードとして体の健康だけでなく、心の健康や豊かさも含めた市民サービスを構築する、「健康と学びのサポートセンター」が６月７日に設立されました。
- 社会人の方にも山形大学の教育プログラムを活用していただくために、「エクステンションぷらす」を 12 月から開講します。
- 健康と学びのサポートセンターとエクステンションぷらすのキックオフイベントとして「市民向け公開セミナー～コロナ禍でも学び続ける人を応援します～」を開催します。

【概要】

小白川キャンパス内の様々な施設の有効利用を念頭に、「健康」をキーワードとして体の健康だけでなく、心の健康や豊かさも含めた市民サービスを構築する、「健康と学びのサポートセンター」が６月７日に設立されました。また、エクステンションサービス推進本部は社会人の方にも山形大学の教育プログラムを活用していただくために、「エクステンションぷらす」を開講します。これらの２つの事業を立ち上げるに伴い、キックオフイベントをオンラインで開催いたします。今回は３つのセミナーを行います。参加費は無料で、オンライン形式で行います。パソコンやスマート端末(スマホ、タブレット)でインターネットを利用できる方は、どなたでも受講可能です。

【開催要項】

日　　時 ／ 令和３年 11 月 28 日（日）　13：30～
会　　場 ／ Zoom ウェビナーと YouTube にて Live 配信
対　　象 ／ 一般市民向け（「Zoom」「YouTube」を視聴できるインターネット環境のある方）
定　　員 ／ なし（zoom は最大 500 名）
参 加 費 ／ 無料
プログラム／
■ 13:30～13:35　開会挨拶
山形大学　健康と学びのサポートセンター　センター長　中西　正樹
■ 13:35～14:20　地上絵の研究と保護 －文化遺産をめぐって－
山形大学教授　（人文社会科学部）　坂井　正人
■ 14:30～15:15　スポーツにおける身体運動の仕組み －サッカーの動作分析から分かること－
山形大学准教授（地域教育文化学部）　井上　功一郎
■ 15:25～16:10　先人に学ぶ人材活用法 －人を活かす言葉たち－
山形大学教授　（地域教育文化学部）　三上　英司
■ 16:10～16:15　閉会挨拶
山形大学エクステンションサービス推進本部 統括責任者　是川　晴彦

【申込方法】

下記の応募フォームからお申込みください。

URL：https://sites.google.com/e.yamagata-u.ac.jp/cwb/市民向け公開セミナー

申込受付の締切：11 月 24 日（水）まで。

受講申込者には、本セミナー参加に必要な情報を、開催日の前日までにメールでお伝えします。

【健康と学びのサポートセンターについて】

本事業では、現在整備中で来年利用開始を予定しているグラウンドをはじめ、小白川キャンパス内の様々な施設の有効利用を念頭に、「健康」をキーワードとして体の健康だけでなく、心の健康や豊かさも含めた市民サービスを構築します。また、大学として実施可能な様々なサービスを統合参加する市民のニーズに合わせて複数のコンテンツを組み合わせて提供することを目指します。

【エクステンションぷらすについて】

本事業では、社会人の方にも山形大学の教育プログラムを活用していただくことを目的に、地域住民のニーズが高い、「幅広い教養」「資格の取得」「経営やビジネスに必要な知識や能力」「英語などの語学力」に向けた社会人向けオリジナル講座を行います。これまでの公開講座とは異なり、同一講師が複数回の講義を担当し、時間をかけて基礎からきちんと、そして、深く学べます。

お問い合わせ
健康と学びのサポートセンター
TEL　023-628-4917　　メール yu-cwb@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

エクステンションぷらすについて
TEL 023-628-4779　　メール yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

Yamagata University

健康と学びのサポートセンター

「イノベーション・コモンズ（共創拠点）」とは

・あらゆる分野、あらゆる場面で、あらゆるプレーヤーが共に創造活動を展開する「共創」の拠点

・教育研究施設の個別の空間だけでなく、食堂や寮、
屋外空間等も含めキャンパス全体が有機的に連携した「共創」の拠点

・対面とオンラインのコミュニケーションが融合し、
ソフトとハードが一体となって取り組まれる「共創」の拠点

⇒多様な学生・研究者や異なる研究分野の「共創」、地域・産業界との「共創」の促進等により、
教育研究の高度化・多様化・国際化、地方創生や新事業・新産業の創出に貢献

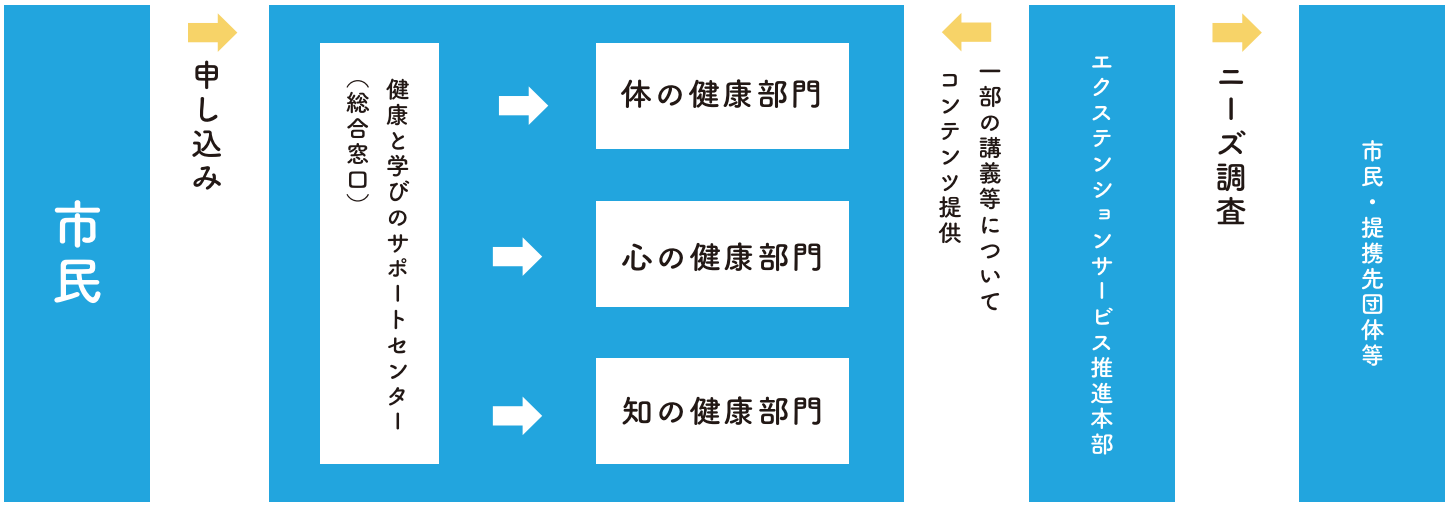
お問い合わせ

健康と学びのサポートセンター
〒990-8560
山形県山形市小白川町１丁目４－１２
小白川キャンパス内
Tel：023-628-4917
Fax：023-628-4779
E-mail：yu-cwb@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
URL：https://sites.google.com/e.yamagata-u.ac.jp/cwb

キャンパス全体をイノベーション・コモンズ（共創拠点）へ

本事業では，新グラウンドをはじめ，
小白川キャンパス内の様々な施設の有効利用を念頭に，
「健康」をキーワードとして体の健康だけでなく，
心の健康や豊かさも含めた市民サービスを構築します。
また，単なるイベント実施ではなく，
大学として実施可能な様々なサービスを統合し，
参加する市民のニーズに合わせて複数のコンテンツを
組み合わせて提供できることを目指します。

大学が実施可能なサービスを統合し，総合サービスとして提供



大学の知のインフラを活かした市民サービスの提供
ーイノベーション・コモンズー

市民による大学利用の例

午前
運動で汗を流し
データの取得
改善方法をフィードバック

午後
興味のある歴史の講義を受講
YEX が講義を提供

帰る前に余った時間を図書館で
学内施設の一般開放

山形大学 Yamagata University　CWB Yamagata University Center for Wellbeing　YEX Yamagata University Extension service organization

健康と学びのサポートセンター設立
YEXぷらす開講記念イベント

公開セミナー

コロナ禍でも学び続ける人を応援します

オンライン開催です！

参加無料
※要事前申込

開催日時 2021.11/28(日) 13:30~16:15（終了予定）

地域の皆様に、心の健康や豊かさを含めたサービスを提供することを目的に、健康と学びのサポートセンターを設立します。また、社会人の方にも山形大学の教育プログラムを活用していただくために、YEXぷらすを開講します。今回はキックオフイベントとして、坂井教授、井上准教授、三上教授を講師に3つの講演を行います。普段は、聞くことのできない大学の授業をこの機会に受けてみませんか？

講師・講演内容

山形大学教授
（人文社会科学部主担当）
坂井 正人
ナスカ地上絵の研究と保護

山形大学准教授
（地域教育文化学部主担当）
井上 功一郎
スポーツにおける身体運動の仕組み

山形大学教授
（地域教育文化学部主担当）
三上 英司
先人の言葉から読み解く人材活用法

受講方法

「Zoom」ウェビナー、YouTube にて Live 配信

対象　「Zoom」「YouTube」を視聴できるインターネット環境のある方

定員　なし（Zoomは最大500人）

申込方法

下記URLもしくは左のQRコードから、必要事項をご記入の上、お申込みお願いいたします。

https://sites.google.com/e.yamagata-u.ac.jp/cwb/ 市民向け公開セミナー

募集期間：2021年10月1日~11月24日

主催　健康と学びのサポートセンター
エクステンションサービス推進本部

お問い合わせ　山形大学 健康と学びのサポートセンター
TEL：023-628-4917
Mail：yu-cwb@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

公開セミナープログラム

参加無料
※要事前申込

13:30~13:35
開会挨拶

健康と学びのサポートセンター センター長
中西 正樹

13:35~14:20
講演①

山形大学教授（人文社会科学部主担当）
坂井 正人

10分休憩

14:30~15:15
講演②

山形大学准教授（地域教育文化学部主担当）
井上 功一郎

10分休憩

15:25~16:10
講演③

山形大学教授（地域教育文化学部主担当）
三上 英司

16:10~16:15
閉会挨拶

エクステンションサービス推進本部 統括責任者
是川 晴彦

講師・講演内容

講演① 13：35~14：20

地上絵の研究と保護
－文化遺産をめぐって

講師 山形大学教授（人文社会科学部主担当）
坂井 正人

内容 「世界遺産ナスカ地上絵」について、欧米の考古学者の研究を紹介した上で、山形大学が実施してきた学術研究および保護活動の成果と意義を紹介します。

講演② 14：30~15：15

スポーツにおける身体運動の仕組み
－サッカーの動作分析から分かること

講師 山形大学准教授（地域教育文化学部主担当）
井上 功一郎

内容 スポーツ科学のバイオメカニクスという研究分野にまつわる話です。サッカーのキック動作を分析した事例などを手掛かりに、スポーツの動作を研究する意義について考えます。

講演③ 15：25~16：10

先人に学ぶ人材活用法
－人を活かす言葉たち

講師 山形大学教授（地域教育文化学部主担当）
三上 英司

内容 古来、「人生意気に感ず、功名誰かまた論ぜん」といわれ続けるように、損得だけで、人は動きません。人を活かす秘訣を伝える古人の言葉に耳を傾けてみましょう。

健康と学びのサポートセンターとは

本事業では、新グラウンドをはじめ、小白川キャンパス内の様々な施設の有効利用を念頭に、「健康」をキーワードとして体の健康だけでなく、心の健康や豊かさも含めた市民サービスを構築します。また、単なるイベント実施ではなく、大学として実施可能な様々なサービスを統合し、参加する市民のニーズに合わせて複数のコンテンツを組み合わせて提供できることを目指します。

YEX ぷらすとは

社会人の方にも山形大学の教育プログラムを活用していただくことを念頭に、地域住民のニーズが高い内容の社会人向けオリジナル講座を行います。一般的な公開講座とは異なり、同一講師が数回の講義を担当し、時間をかけて基礎からきちんと、そして、深く学べます。

受講方法

オンラインでの受講になります
「Zoom」ウェビナー、YouTube にて Live 配信

対象 「Zoom」「YouTube」を視聴できるインターネット環境のある方

定員 なし（Zoomは最大500人）

申込方法

下記URLもしくは左のQRコードから、必要事項をご記入の上、お申込みお願いいたします。
https://sites.google.com/e.yamagata-u.ac.jp/cwb/市民向け公開セミナー

募集期間：2021年10月1日~11月24日

受講生募集中!!

エクステンションぷらす開講!!

まだまだ学び足りない大人達へ、山形大学が贈る新たなカタチの社会人向け講座

山形大学 Yamagata University

YEX Yamagata University Extension plus service organization

各講座 全3回 オンライン配信
※Zoomを使用します
（見逃し配信あり）

「大学レベルの学問」を楽しく学び、社会で活躍するための知識や考え方を身につけることを目的とした社会人向けのオリジナル講座「エクステンションぷらす」を開講します。

日々の仕事や生活に役立つ講座をオンラインで配信（見逃し配信あり）。全ての講座が全３回（各90分）で構成され、時間をかけて基礎からしっかりと、そして深く学ぶことができます。
家で過ごすことが多くなる冬。今シーズンは自宅で学びを深める時間にしませんか？ みなさまの受講を心よりお待ちしております。

日程 2021
12/8（水）
12/15（水）
12/22（水）
各18:30~20:00

アカデミックな学びで仕事のスキルアップ

基礎から学ぶ会計学 ―簿記・会計未経験者のための入門

講師 洪 慈乙 教授
受講料金 5,000円（全3回分）
申込締切日 2021年12月6日（月）

複式簿記の初心者を対象に、帳簿記入の基本である仕訳から帳簿を締め切る決算までの一連のプロセス、およびその結果として作成される会計情報の読み方を超簡単な例を通じて追体験してみます。

日程 2021
12/8（水）
12/15（水）
12/22（水）
各18:30~20:00

社会と自分の関わり方を考える一助に

ダイバーシティ＆インクルージョンの基本 ―多様な共生社会で活躍するための考え方（ミニ手話講座付き）

講師 有海 順子 准教授
受講料金 5,000円（全3回分）
申込締切日 2021年12月6日（月）

今後求められる多様な共生社会で活躍するためには、ダイバーシティ＆インクルージョンの考え方が重要です。障がい、ジェンダー、国籍や文化を正しく理解し、様々な方への接し方や向き合い方を一緒に学びませんか！

日程 2021~22
12/25（土）
1/8（土）
1/22（土）
各10:30~12:00

さびついた英語力、磨きなおしてみませんか？

英語は丁寧に読むと面白い ―児童書から大人の小説まで

講師 鈴木 亨 教授
受講料金 5,000円（全3回分）
申込締切日 2021年12月19日（日）

英語の児童書、娯楽小説、文学作品からの抜粋（毎回 4~6 ページ程度）を題材に読解のポイントを解説。作品をより深く楽しんでもらうために、テキストは事前に配布し、毎回簡単な課題を提出してもらいます（大学1年生程度の英語力が前提）。

日程 2022
1/12（水）
1/19（水）
1/26（水）
各18:30~20:00

日々の立ち振る舞いを先人達から学ぶ

先人に学ぶ人材活用法 ―人を活かす言葉たち

講師 三上 英司 教授
受講料金 5,000円（全3回分）
申込締切日 2022年1月10日（月）

古来、人を奮い立たせ、自己を省察させ続けてきた言葉を皆様と見つめ直してみたいと思います。今回の講座では、『論語』や『菜根譚』、またさまざまな歴史書に記さる「人を活かすためのコツ」に関する言葉を取り上げます。

日程 2022
2/3（木）
2/10（木）
2/17（木）
各18:00~19:30

山形大学が誇る世界的研究のこれまでとこれから

社会で生きるための人類学的視点 ―アンデスの事例を現代に活かす

講師 坂井 正人 教授
受講料金 5,000円（全3回分）
申込締切日 2022年2月1日（火）

南米アンデスにおいて実施してきた調査（ナスカ、インカ、チムー、形成期）について、詳細に説明した上で、これらが現代社会においてどのように活用されてきたのか、また今後どのような活用を目指しているのかについてお話しします。

申込方法

下記のURLもしくは右記QRコードから、パソコンやスマートフォンで申込受付ページにアクセスをしてください。受講料の支払い方法や、受講方法などをご確認の後、専用フォームに必要事項をご記入の上、送信してください。
https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/area/education/002/yexplus2021

お問い合わせ

山形大学エクステンションサービス推進本部
023-628-4779
yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

令和３年（2021年）11月4日

本学学生が最新AI翻訳エンジンの開発に貢献

～卒業生が経営する企業からの受託事業を実施～

【本件のポイント】

- 今年7月にトランスユーロ株式会社（東京都千代田区）と受託事業「訳文データ（原文･訳文）の量に応じたAI翻訳エンジンによる翻訳精度の変化」契約を締結。
- 本事業は鈴木亨教授（英語学／人文社会科学部担当）が受託し、同学部の学生９名が、AI翻訳エンジン（日英･日独）の訳文データの処理と翻訳精度の確認に携わり、最先端の技術開発に貢献。
- 同社代表取締役の井口雄一氏は本学人文学部の卒業生であり、翻訳エンジンの開発という貴重な事業を本学に委託

【定期的に実施しているオンラインミーティング風景】

【概要】

山形大学は、令和３年７月６日にトランスユーロ株式会社（東京都千代田区）と受託事業「訳文データ（原文･訳文）の量に応じたAI翻訳エンジンによる翻訳精度の変化」契約を締結しました。
本事業は鈴木亨教授（英語学／人文社会科学部）が受託したもので、同学部の学生９名が、AI翻訳エンジン（英日･独日）の訳文データの処理と翻訳精度の確認に携わり、最先端の技術開発に貢献しています。
同社代表取締役社長の井口雄一氏は本学人文学部の卒業生であり、翻訳エンジンの開発という貴重な事業を本学に委託されました。学生にとっては、最先端の技術開発事業に貢献できるとともに、コロナ禍でアルバイトが減少する中、本学のアドミニストレイティブ・アシスタント(※1)として雇用することで、経済的支援にもつながりました。

【受託事業概要】

〇委託者：トランスユーロ株式会社　東京都千代田区東神田1-2-2
代表取締役　井口　雄一　氏（平成４年山形大学人文学部卒業）
事業内容：特許翻訳、技術翻訳、法律文書翻訳など、主にドイツ語・英語全般に関わる翻訳業務
〇事業題目：訳文データ（原文･訳文）の量に応じたAI翻訳エンジンによる翻訳精度の変化
〇事業担当者：学術研究院（人文社会科学部担当）教授　鈴木　亨

お問い合わせ
学術研究院　教授（英語学／人文社会科学部担当）鈴木　亨
TEL　023-628-4795
メール torus@human.kj.yamagata-u.ac.jp

【関係者のコメント】

〇トランスユーロ株式会社　代表取締役　井口　雄一　氏

１．山形大学に委託した理由

今回のプロジェクトは2020年の年明けからスタートさせております。当初は単独での開発を優先し、自社の社員のみで対応することを想定しておりました。しかし、業務繁忙が続いたことにより、開発の遅れが懸念されたことから、外部団体との協働を模索するようになりました。その際、新型コロナウイルスの蔓延という予想だにしなかった逆風により、企業活動は勿論のこと、日本の将来を担う学生の就業環境も厳しい状況に置かれている現状を考えるに至り、卒業後もお付き合いをさせて頂いている貴学にお声がけをさせていただきました。

２．事業の進捗状況

順調に進んでおり、現在、プロトタイプは出来上がっておりますので、これを３つのフェーズに分けて、Ver 01、Ver 02、Ver 03 と段階的に進化させていく予定です。今のところ、以下のようなスケジュールで開発を進める予定でおります。

	Ver 01	Ver 02	Ver 03
英日	2021/10	2021/11	2022/1
独日	2021/12	2022/3	2022/5

３．今後の展望等

今後も事業を継続しながら、Ver 03 以降も見据えた計画を持ちたいと思っています。学生にお願いをしている作業については、「言語」に対する知識は勿論のこと、ある程度の「慣れ」が必要になってきます。今後は、彼らが後輩にノウハウを継承し、安定的にこの作業を行っていただけるようになれば非常に心強いと思っています。

〇学術研究院（人文社会科学部担当）鈴木　亨　教授

近年 AI 翻訳の発達は目覚ましく、私たちは社会生活の様々な場面で、時にはほとんど気づかないままに大きな恩恵を受けています。大学の授業でも学生が英語を使用する際に、機械翻訳を活用していることは自明の事実です。一方、言語の研究者としては、少なくとも現時点では、誰かが最終的にきちんとチェックをしなければいけないという意味で、AI 翻訳への無自覚な依存は大きな気掛かりでもあります。そのような科学技術と人間がせめぎあう最先端の現場に、本事業を通じて山形大学の学生たちが微力ながらも関わることができるということは、とても貴重な体験となると思います。

〇人文社会科学部人文社会科学科グローバル･スタディーズコース３年　柳山　竜輝(事業に参画しての感想)

我々の作業である翻訳データの照合によって AI が学習し、翻訳の質が改善されていったことに喜びとやりがいを感じました。人の手なくして AI が成長できないことや機械翻訳の改良の難しさを肌で感じることができ、AI 技術の実態を知ることができたと思います。先行する AI 技術に微力ながらも携わらせていただけたことは私にとってとてもいい機会になりました。本事業の AI 翻訳が今後どこまで成長するのか楽しみです。

〇人文社会科学部人文社会科学科グローバル･スタディーズコース３年　阿部　遥香(事業に参画しての感想)

訳文データには、授業などで目にする英文とは違った、特許特有の表現が多く見られ、いつも新鮮な気持ちでデータの処理に取り組んでいます。特許のジャンルは多岐にわたっており、毎回新しい英単語を見つけられるところが楽しく、勉強になります。このようなプロジェクトに携わらせていただき、貴重な経験ができていることをとても嬉しく思います。

※用語解説

１．アドミニストレイティブ・アシスタント：修学に支障のない範囲において、本学の業務・事業に本学の学生を参画させることにより、学生支援業務等の充実と学生の就業意識の向上を図り、また、学生に対する経済的支援を目的とした本学独自の制度。

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

令和3年（2021年）11月4日

JST　STARTプログラムに採択されました

～印刷プロセスによる有機ELパネルの少量多品種化～

【本件のポイント】

- 山形大学では世界トップレベルの印刷有機EL技術を保有している。
- 今回、JST　STARTプログラム（2021～2023年度：3年間）に採択された。
- 印刷技術を集積・深化し、安価・少量多品種に対応する有機ELパネル製造販売ベンチャー設立を目指す

【概要】

国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム（ＳＴＡＲＴ）プロジェクト支援型に、山形大学学術研究院　教授　硯里善幸（研究代表者）、教授　城戸淳二、准教授　水上誠、助教　千葉貴之らの研究グループが採択された。

有機 EL はディスプレイ分野・照明分野で普及が急速に進んでいるが、大量生産が主流であり少量・多品種には対応できていない。山形大学では JST S-イノベ、COI 等の支援により開発した世界トップレベルの印刷有機 EL の技術を保有しており、これらをインテグレートし、安価・少量多品種に対応する。印刷有機 EL 技術に加え、本プログラムによる製品の印刷技術開発により、ベンチャー企業の設立を目指す。

【背景】

有機 EL は、高い表示性能と高い設計･実装の自由度により、様々な用途への展開可能性を持つものの、既存の「蒸着型」有機 EL は製造装置が数千億円規模に上り、少量多品種への対応が困難なため、現状は用途が限られている。一方で、IoT 技術が普及する中、ディスプレイのニーズは増しており、家電等にもインジケータ類が搭載されている。これらは省電力かつ視認性の高い有機 EL の有望な市場であり、安価かつ少量・多品種に対応可能な技術が求められている。

【採択内容】

山形大学は、「世界トップの印刷型有機 EL 技術」に加え、パネル化に必要な周辺技術においても高い印刷技術を保有している。本プログラムでは、低コストで少量多品種への対応が可能な「印刷型」有機 EL パネルを達成するために、①印刷有機 EL、②印刷配線・発光パターン形成、③印刷トランジスタの３つのキーテクノロジーの集積を行う。特に少量多品種に適した印刷技術におけるインクやプロセス開発と、それらを基にした初期製品の開発を行い、JST S-イノベ、COI 等の支援により開発した印刷有機 EL の社会実装を目指す。

・採択プログラム：国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）
　　研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム（ＳＴＡＲＴ）プロジェクト支援型
・採択課題： 印刷型有機ＥＬパネルの事業化
・期間：　2021～2023 年度
・採択者：山形大学学術研究院　教授　硯里善幸（研究代表者）
　　教授　城戸淳二
　　准教授　水上誠
　　助教　千葉貴之
　　ＱＢキャピタル合同会社（事業プロモーター）　代表　坂本剛
・HP:　https://www.jst.go.jp/pr/info/info1531/index.html

【今後の展望】

事業プロモーターである QB キャピタル合同会社と連携し、IoT 化等による多品種へのニーズに対し、少量多品種生産が可能な印刷型小型有機ＥＬパネルの製造販売を展開するベンチャーの設立を目指す。

お問い合わせ
学術研究院　教授　（有機エレクトロニクスイノベーションセンター担当）　硯里善幸
TEL 0238-29-0577　　メール suzuri@yz.yamagata-u.ac.jp

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学 Yamagata University

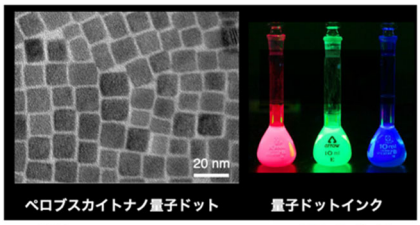
令和３年（2021年）11月4日

戦略的国際共同研究プログラム（ＳＩＣＯＲＰ）【日本－ヴィシェグラード４か国（Ｖ４）共同研究】に採択

～５か国間の国際共同連携を通じてペロブスカイト量子ドット型X線検出器の開発～

【本件のポイント】

- 日本側の山形大学とヴィシェグラード４か国（チェコ・ポーランド・ハンガリー・スロバキア）の研究機関の共同提案が科学技術振興機（JST）による国際共同研究プログラム（SICORP）に採択。
- 山形大学（日本）、Ｊ.ヘイロフスキー物理化学研究所（チェコ）、ポーランド科学アカデミー（ポーランド）、セゲド大学（ハンガリー）、スロバキア科学アカデミー（スロバキア）の５か国間の共同提案。
- 期間は、2021年11月からの3年間。山形大学では、3年間で総額1800万を上限とした委託研究費を活用して研究開発を実施する。ペロブスカイト量子ドットの新領域への展開として、X線検出器への応用を目指す。



【概要】

科学技術振興機構（JST）戦略的国際共同研究プログラム（SICORP）「日本－ヴィシェグラード４か国（Ｖ４）共同研究」（先端材料）の新規課題として、日本側の山形大学とヴィシェグラード４か国による共同提案内容が採択されました（42 件の提案から 5 件が採択）。これまで実施してきた JST の S イノベ（戦略的イノベーション創出推進プログラム）、COI（センターオブイノベーションプログラム）の塗布印刷プロセスに関する研究成果を応用します。

研究期間は 2021 年 11 月から 2024 年 10 月までの 3 年間を予定しており、参画機関は山形大学（日本）、Ｊ.ヘイロフスキー物理化学研究所（チェコ）、ポーランド科学アカデミー（ポーランド）、セゲ大学（ハンガリー）、スロバキア科学アカデミー（スロバキア）の 5 機関です。日本側の委託研究費は、JST が 3 年間の総額で 1800 万円を上限として支援し、V4 側はそれぞれ各国の参加支援機関および国際ヴィシェグラード基金が支援します。

今回の研究提案内容は「ペロブスカイト量子ドットに端を発する広帯域 X 線検出器の創生」です。日本側の山形大学はペロブスカイト量子ドットの表面修飾技術を基盤とした高密度集積化と X 線検出器の開発を担当します。ペロブスカイト量子ドットの合成・物性解析・成膜技術・デバイス開発の知識と経験を共有化するプラットフォームを構築します。5 ヶ国間の技術を集約すること、従来よりも被爆量や人体へのリスクの低減を可能とした低コスト・高感度な X 線検出器の実現が期待されています。

本研究提案は、ペロブスカイト量子ドットを利用した X 線検出器を開発することで、低線量化により人体への被爆リスクの低減と低コスト化に挑戦します。日本側として研究代表者の千葉貴之助教（山形大学大学院有機材料システム研究科担当）を中心に、連携研究員として増原陽人教授（山形大学大学院理工学研究科担当）と城戸淳二教授（山形大学有機材料システムフロンティアセンター長）の力を集結し研究開発を推進します。

【参考】

1．JST 戦略的国際共同研究プログラム（SICORP）について：
ホームページ：https://www.jst.go.jp/inter/program/multilateral/v4.html
採択結果に関する JST ホームページ：https://www.jst.go.jp/pr/info/info1527/index.html
2．ヴィシェグラード４か国： チェコ、ポーランド、ハンガリー、スロバキア
3．ペロブスカイト量子ドット：ペロブスカイト構造 $CsPbX_3$（X=Cl, Br, I）を有する 10 nm 程度のナノ結晶。
4．X 線検出器：X 線を吸収することで、発光や光電流が利用可能なデバイス。

お問い合わせ
山形大学大学院有機材料システム研究科　助教　千葉　貴之
TEL　0238-26-3595　　メール T-chiba@yz.yamagata-u.ac.jp

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

令和３年（2021年）11月4日

医療用フェイスシールド付き高演色LEDヘッドランプを開発

～学内連携による医療用途への応用に期待～

【本件のポイント】

●山形大学センター・オブ・イノベーション（COI）プロジェクトの一環として、コロナ禍における診察用ヘッドランプを医工連携で共同開発した。

●医療用に使用するためランプは軽量かつ演色評価数 (※1) が94の高演色LEDを用い、フェイスシールドを装備することによりウイルスなどへの曝露を防ぐ構造とした。

●山形大学発ベンチャーであるオーガニックライティング(株)より製品化を進める。

【概要】

山形大学では、センター・オブ・イノベーション（COI）プロジェクト (※2)（実施期間：2013 年度から 2021 年度、支援機関：科学技術振興機構（JST）、文部科学省）において、未来の快適で健康な生活や社会の創造を目指した研究開発や有機エレクトロニクス技術の社会実装を進めています。その一環として、照明用有機 EL パネルの医療用途への応用を目指して、赤ちゃん用や睡眠用の有機 EL 照明器具、そしてリモート診察システムなどを開発してきました。

今回、医工連携として、本学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座の欠畑誠治教授（耳鼻咽喉・頭頸部外科学）と有機材料システムフロンティアセンターの城戸淳二教授らの共同で、診療時に使用するヘッドランプを開発しました。従来のヘッドランプは、色の再現性が低い白色 LED が用いられており、微妙な患部の状態が分かりにくかった欠点があります。一方、本ヘッドランプでは演色評価数が 94 という非常に高い色再現性を有する LED を使用しているばかりでなく、コロナ禍において医師がウイルス等に暴露されないためのフェイスシールドも装備しています。今後、医師が安全に、安心して診療できるばかりではなく、病院でのクラスター発生を防ぐものとして期待できます。

【研究手法・研究成果】

工学部においてヘッドランプを設計し、３Dプリンターで製作し、医学部において実証実験を行いました。改良点の指摘を受け、試作を繰り返し、完成に至りました。

【今後の展望】

山形大学発ベンチャーのオーガニックライティング(株)により、製造販売を行います。

【参考】

・オーガニックライティング株式会社（山形県米沢市）：
＜事業内容＞　照明機器・オブジェ等の応用商品の企画・デザイン・開発・販売。
2009年設立の山形大学発ベンチャー。

※用語解説

1．演色性：色の見え方に関する指標。昼光の光を基準とし、照らされた物体の色の色ずれで評価する。

2．COI プロジェクト：　センター・オブ・イノベーション（COI）プログラムとは、科学技術振興機構（JST）および文部科学省が基礎研究段階から実用化を目指した産学連携による研究開発を支援するものです。10 年後の目指すべき社会映像を見据えたビジョン主導型のチャレンジング・ハイリスクな研究開発を支援しています。(実施期間：2013 年度～2021 年度)

お問い合わせ
山形大学有機材料システムフロンティアセンター　センター長、教授　城戸　淳二
TEL　0238-26-3052　　メール kid@yz.yamagata-u.ac.jp
山形大学 COI 研究推進機構
TEL　0238-26-3585　　メール coi@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学 Yamagata University

令和３年（2021年）11月4日

太宰治の名作 東北６県の高校生 朗読を競う

～第14回山形大学高校生朗読コンクール審査結果発表～

【本件のポイント】

- 第14回山形大学高校生朗読コンクールの審査結果を発表します。
- 本選出場者14名の中から、１位・2位(同点3名)を山形大学学長賞として選出しました。
- 本選の模様は、山形大学公式YouTubeチャンネルにより一般公開します。

【概要】

山形大学は地域社会との連携をより深める事を目的に、東北６県の高校生の文化交流を支援するため、第 14 回山形大学高校生朗読コンクールを開催しました。

令和３年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、録音による審査によって開催しました。東北６県の高校 30 校 92 名の高校生により競われた予選審査を通過し、本選に出場した 14 名の高校生は青森出身の太宰治の名作「走れメロス」をリレー形式で朗読しました。１位～３位（2 位に同点３名のため３位なし）を山形大学学長賞として選出しました。他の本選出場者も入選として表彰します。

本選の模様は、令和３年 11 月４日（木）から山形大学公式 YouTube チャンネルにより一般公開されます。

なお、本コンクールは基盤共通教育「高大連携で社会とつながろう」（担当教員：山本陽史）の受講学生が企画運営を行い、YouTube の動画撮影・編集は山形大学放送研究会の学生に御協力いただき開催いたしました。

【審査結果】

《 山 形 大 学 学 長 賞 》

第　１　位	**齋藤　若奈**	**山形県立酒田西高等学校**
第　２　位	**阿部　采花**	**宮城県仙台三桜高等学校**
第　２　位	**藤本　沙希**	**青森県立五所川原高等学校**
第　２　位	**吉田　にこ**	**青森県立五所川原高等学校**

《　　入　　選　　》

大石　裕太	**福島県立安積黎明高等学校**	**加藤　萌**	**福島県立福島西高等学校**
佐藤　珠里	**青森県立青森高等学校**	**佐藤　美樹**	**福島県立安積黎明高等学校**
菅井　実理	**聖ｳﾙｽﾗ学院英智高等学校**	**千葉　薫子**	**宮城県仙台三桜高等学校**
長岡　愛乃	**山形県立寒河江高等学校**	**深瀬　百恵**	**山形県立山形西高等学校**
深谷　美波	**福島県立安積黎明高等学校**	**吉田　遥**	**山形県立山形東高等学校**

（敬称略・入選者は氏名の五十音順に記載）

【山形大学公式 YouTube チャンネル】

第 14 回高校生朗読コンクール　＜　https://youtu.be/rrbKxAzOTLs　＞

本件お問合せ
山形大学高校生朗読コンクール事務局（担当：川原）
〒990－8560　山形県山形市小白川町一丁目４－12
TEL：023-628-4844　　メール embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学 Yamagata University

令和３年（2021年）11月4日

第49回山形大学模擬裁判公演のお知らせ

～同性婚訴訟、あなたはどう考える？～

【本件のポイント】

- 今年のテーマは「同性婚」です。今年の3月には日本初の、同性婚を認めないことは違憲であるという札幌地裁判決が出されました。ホットで話題性のあるテーマを、いち早く模擬裁判として取り上げました。
- 実際に東京訴訟の原告の方や弁護団の方へ取材を行い、リアリティと当事者の生の声を反映させた脚本となっています。
- 1年生から3年生の学生約100人が参加し、1年がかりで作り上げる迫力の公演とその取り組みにご注目ください。

マスクを付けながらの練習

【概要】

山形大学模擬裁判実行委員会は、年に１度「模擬裁判」という裁判劇の公演を行い、研究成果を発表しています。今年は「同性婚」をテーマとして公演を行います。

私たちの模擬裁判公演で提示するのは、あくまでも私たちの一意見であり、公演をご覧になったお客様には、現在の性的少数者が抱える問題を見て、これからの社会がどう変化していくべきか、そして私たち１人ひとりに何ができるか、何をすべきなのかについて、私たちと一緒に考えていただきたいと思います。

そのために、今年は裁判シーンだけでなく、裁判前後の日常シーンにもとても力を入れています。実際に当事者たちがリアルタイムで何を考えているのか、何に苦しんでいるのかに注目していただければ幸いです。

【模擬裁判とは】

山形大学模擬裁判実行委員会は、主に人文社会科学部の学生で構成される自主ゼミです。年に一度の模擬裁判という裁判劇の公演で研究成果を発表しています。裁判劇を市民の皆様に観ていただくことで、法律を身近に感じ、その時代が抱える社会問題について考えていただくきっかけを作ることを目的としています。

【あらすじ】

ゲイカップルの主人公２人は、ひょんなことから弁護士と出会い、国に対して裁判を起こさないかと提案されます。最初は戸惑う２人でしたが、２人の未来のため、そして今現に苦しんでいる誰かのために、裁判を起こす覚悟を固めます。そして、過去のトラウマを乗り越え、運命の判決を迎えます。

【公演内容】『幸せの条件－ぼくたちはここにいる－』

日時：2021 年 12 月 4 日(土)　昼の部：12:30 開演　夜の部：17:30 開演
場所：山形テルサ　テルサホール
料金：前売り券 300 円／当日券 400 円（高校生以下は無料）
チケット販売：山形大学生協／八文字屋プレイガイド

※キャスト練習や本番に向けた最終リハーサルなどの活動を可能な限り公開させていただきます。
ご関心のある報道機関の皆様は当団体委員長 菅野までご連絡ください。

[山形大学模擬裁判実行委員会 公式ホームページ]
https://yamadai-mogisai.jimdofree.com/

予告動画公開中！➡

お問い合わせ
山形大学模擬裁判実行委員会　委員長　菅野　光平
メール：kohe.9050@gmail.com

49 回模擬裁判公演における感染症対策について

今回は、会場である山形テルサホールの座席を制限して利用し、公演 1 回あたりの収容率を 50%にした上で公演を実施いたします。

また、感染症対策の目的である「感染者を出さない・感染を拡大させない」ことを達成するためにご来場のお客様に、以下の対策の実施をお願い致します。

また、感染拡大防止のため、**演技中もマスクを着用したまま**演技致します。

表情が見えなかったり、声が届きにくい可能性もございますが、御了承下さい。

【ご来場前に】

- 公演当日、下記の体調不良をお感じの方は、ご来場をお控え頂きますようにお願い致します
  - 発熱、咳、呼吸困難、全身の倦怠感、のどの痛み、鼻水・鼻づまり、味覚・嗅覚の異常、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節痛・筋肉痛、下痢、吐き気・嘔吐の症状
- 以下の方も、ご来場をお控え頂きますようお願い致します。
  - 公演前の 14 日間に、上記と同様の体調不良の諸症状があった方
  - 公演前の 14 日間に、新型コロナウイルス感染症が拡大している国や地域から日本に入国された方
  - 公演前の 14 日間に、身近な方で新型コロナウイルスに感染した方、もしくは感染の疑いがある方がいらっしゃる場合

【当日会場にて】

- 会場入り口にて検温を実施させて頂きます。37.5℃以上の熱がある方は、入場をお断りし、チケット代金を払い戻しさせて頂きます
- 会場では常時マスクの着用が必要となります。また、手洗いの徹底と消毒液のご利用をお願い致します
- お手洗いにはご自身のハンカチをご持参下さい
- お客様同士の間隔を十分に保てるよう、ご協力とご配慮をお願い致します
- 開場時と休憩時には、入場口や客席扉を開け、換気をさせて頂きます
- 換気により会場内の冷暖房効果が損なわれる恐れがございますので、お客様ご自身で体温調整のできる服装でお越し下さいますようお願い致します
- 感染症対策として、ご来場のお客様へ、有事に限り、保健所等の関係者機関へ情報提供させて頂くことを伝えた上で、連絡先の記入をお願い致します。ご記入頂いた情報は、1 ヶ月間保存し、その後破棄します。
- 配布物等に関してはお客様ご自身でお取り頂くようお願いいたします

主催
山形大学模擬裁判実行委員会

協賛
ふすま同窓会
山形大学校友会

後援
朝日新聞山形総局
NHK 山形放送局
株式会社エフエム山形
株式会社さくらんぼテレビジョン
株式会社テレビユー山形
株式会社山形テレビ
河北新報社
山形県教育委員会
山形市教育委員会
山形県弁護士会
株式会社ダイバーシティメディア
山形コミュニティ放送
山形県
山形市
山形新聞・山形放送
山形地方検察庁
山形地方裁判所
毎日新聞山形支局
読売新聞山形支局
東北大学模擬裁判実行委員会

第 49 回模擬裁判公演

幸せの条件

ぼくたちはここにいる

2021年
12 月 4 日（ 土 ）

昼の部
開場　12 時 00 分
開演　12 時 30 分

夜の部
開場　17 時 00 分
開演　17 時 30 分

入場料金

前売り券　300 円
当日券　400 円
高校生以下無料

チケット取り扱い
山形大学生協
八文字屋本店プレイガイド

HP
https://yamadai-mogisai.jimdofree.com

このチラシ提示で当日券400円→300円

会場
山形テルサ
テルサホール

同性カップルの**浩平**と**蒼**。
何気ない日常を過ごしていた二人は、行きつけのバーで、
同じ性的少数者である**男性弁護士**と出会う。
『**同性婚訴訟**に興味はありませんか――――――?』
国を相手取った“**国家賠償請求訴訟**”の
原告にならないかと持ちかけられる二人。

『誰かの心の支えになれるなら、やろう、この裁判――!』

原告になる決意を固める二人。
辛く苦しい過去と向き合い、**社会を変えるため**に立ち上がる。

今、運命の**判決**が下る――――――

49回模擬裁判公演における感染症対策について

今回は、会場である山形テルサホールの座席は**1席ずつ間隔を空けて利用**し、公演1回あたりの収容率を50％に制限した上で公演を実施いたします。
また、感染症対策の目的である「感染者を出さない・感染を拡大させない」ことを達成するためにご来場のお客様に、以下の対策の実施をお願い致します。

【ご来場前に】
●公演当日、下記の体調不良をお感じの方は、ご来場をお控え頂きますようにお願い致します
　➢発熱、咳、呼吸困難、全身の倦怠感、のどの痛み、鼻水・鼻づまり、味覚・嗅覚の異常、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節痛・筋肉痛、下痢、吐き気・嘔吐の症状
●以下の方も、ご来場をお控え頂きますようお願い致します。
　➢公演前の14日間に、上記と同様の体調不良の諸症状があった方
　➢公演前の14日間に、新型コロナウイルス感染症が拡大している国や地域から日本に入国された方
　➢公演前の14日間に、身近な方で新型コロナウイルスに感染した方、もしくは感染の疑いがある方がいらっしゃる場合

【当日会場にて】
●会場入り口にて検温を実施させて頂きます。37.5℃以上の熱がある方は、入場をお断りし、チケット代金を払い戻しさせて頂きます
●会場では常時マスクの着用が必要となります。また、手洗いの徹底と消毒液のご利用をお願い致します
●お手洗いにはご自身のハンカチをご持参下さい
●お客様同士の間隔を十分に保てるよう、ご協力とご配慮をお願い致します
●開場時と休憩時には、入場口や客席扉を開け、換気をさせて頂きます
●換気により会場内の冷暖房効果が損なわれる恐れがございますので、お客様ご自身で体温調整のできる服装でお越し下さいますようお願い致します
●感染症対策として、ご来場のお客様へ連絡先の記入をお願い致します。ご記入頂いた情報は、有事に限り、保健所等の関係者機関へ情報提供させて頂く場合があります
●感染拡大防止のため、演者と客席の距離は2m以上確保し、最前列から3列は使用禁止とします

プレス通知資料（概 要）

令和 3 年(2021 年)11 月 4 日
山　形　大　学

＊詳細は別添の資料をご覧ください。

1．東日本重粒子センターがオンラインセミナーを開催
～重粒子線がん治療と地域経済を考える～

重粒子線がん治療の動向について解説するとともに、稼働開始により期待できる地域経済への波及について考えるセミナーを開催します（詳細は別添のチラシをご覧ください）。
日　時：令和 3 年 12 月 4 日（土）13 時 30 分開会　14 時 55 分終了予定
会　場：オンライン（Zoom ウェビナーで配信します）　※定員は 400 人

2．2021年度「奥の細道マイスター養成講座【教養講座】」受講者募集

2021 年度「奥の細道マイスター養成講座【教養講座】」の受講者を募集します。講義はオンライン（Zoom）で行います（詳細は別添のチラシをご覧ください）。
講師：山形大学教授　山本陽史（日本文学）、山形大学准教授　佐藤琴（博物館学、日本美術史）
場所：オンライン（Zoom）
対象：一般・大学生・高校生

3．令和３年やまがたハイブリッド環境展に参加
～山形大学の３Ｒワークショップを開催～

やまがたハイブリッド環境展において、ワークショップを開催します。山形大学学生がワークショップ子供たちに物の大切さやごみ減量化の必要性等についての理解を促し、3 R 推進の意識醸成を図ります（詳細は別添のチラシをご覧ください）。

※これまでの定例会見でお知らせしたもので、開催が迫っているイベント

◎ ピアニストの舘野泉氏による公開講座を行います
～山形大学と山形交響楽団の連携による音楽教育推進事業～

日　時：11 月 15 日（月）18:30 開演
会　場：山形大学文化ホール（山形大学小白川キャンパス内）

◎ ひらめき☆ときめきサイエンス　～ようこそ大学の研究室へ～
やわらかアニマロイドってなに？－「ゲル」×「AI」、ロボットの未来の話をしよう－

日　　時：11月14日（日）13：30～16：45
開催場所：長井市旧長井小学校第一校舎
対　　象：中学生（10名：先着順）
申込締切：10月19日（火）

◎ ひらめき☆ときめきサイエンス　～ようこそ大学の研究室へ～
未来の光 有機ＥＬを自分でつくる－有機エレクトロニクスを体感する－

日　　時：11月28日（日）13：30～17：00
開催場所：有機材料システムフロンティアセンター11 号館 5 階（山形大学工学部米沢キャンパス内）
対　　象：中学生（10 名：定員を超えた場合は、申込締切日後に選考）
申込締切：11 月 4 日（木）

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

令和3年（2021年）11月4日

東日本重粒子センターがオンラインセミナーを開催

～重粒子線がん治療と地域経済を考える～

【本件のポイント】

●今年2月25日から、医学部の東日本重粒子センターにおける前立腺がんの重粒子線治療がスタートしました。

●重粒子線がん治療の動向について解説するとともに、稼働開始により期待できる地域経済への波及について考えるセミナーを開催します。

●センター長の根本建二（理事・副学長）と、人文社会科学部附属「やまがた地域社会研究所」所長の山田浩久（教授・人文社会科学部主担当）が講師を務めます。

【概要】

山形大学医学部東日本重粒子センターにおける前立腺がんの重粒子線治療が、今年 2 月 25 日から始まりました。重粒子線治療ができる医療施設は世界的にも数が少ないため、治療を目的に他県や国外から山形を訪れるケースが増えることが予想され、センターの稼働開始は地域経済への波及が期待できます。今回は、重粒子線がん治療の動向について解説するとともに、医療ツーリズム等の視点から地域経済への波及について考えます。本セミナーは、東日本重粒子センターと、社会人等を対象に大学の幅広い知見を活かした教育プログラムを企画するエクステンションサービス推進本部が共催します。オンライン（Zoom ウェビナー）で行い、受講料は無料です。

【開催要項】

日　時：令和 3 年 12 月 4 日（土）13 時 30 分開会　14 時 55 分終了予定
会　場：オンライン（Zoom ウェビナーで配信します）　※定員は 400 人
参加費：無料
対　象：一般
プログラム：
　開会挨拶／山形大学医学部長 上野 義之
　重粒子線がん治療の動向（仮）／山形大学理事・副学長 山形大学東日本重粒子センター長 根本 建二
　重粒子線がん治療と医療ツーリズム（仮）
　　／山形大学教授（人文社会科学部主担当） 人文社会科学部附属やまがた地域社会研究所長 山田 浩久
　質疑応答
　閉会挨拶／山形大学人文社会科学部長 山形大学エクステンションサービス推進本部統括責任者 是川 晴彦
後　援：山形大学医学部先端医療国際交流推進協議会　山形県　山形市　山形県市長会　山形県町村会

【申込方法】

下記の応募フォームからお申込みください。
URL：https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/area/education/002/20211204
　　申込受付の締切：12 月 1 日（水）まで。
　　受講申込者には、本セミナー参加に必要な情報を、開催日の前日までにメールでお伝えします。

お問い合わせ
エクステンションサービス推進本部
TEL　023-628-4779　　メール yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

【第1回】東日本重粒子センター特別セミナー

がん治療の新たな選択肢と地域経済への波及

重粒子線がん治療と地域経済を考える

参加無料　事前申込

開催日時 2021（令和3年）

12/4

土 13:30～〔終了予定14:55〕

山形大学医学部東日本重粒子センターにおける前立腺がんの重粒子線治療が2月25日から始まりました。重粒子センターの稼働開始は、地域経済への波及も期待できます。今回は、重粒子線がん治療の動向について解説するとともに、医療ツーリズム等の視点から、地域経済への波及について考えます。

受講方法 **オンライン**
オンライン会議システム「Zoom」ウェビナー

対象 **一般**（定員：400人）
「Zoom」を視聴できるインターネット環境のある方

プログラム

山形大学理事・副学長
山形大学東日本重粒子センター長
根本建二

山形大学教授（人文社会科学部担当）
山形大学人文社会科学部附属
やまがた地域社会研究所長
山田浩久

13:30→13:35	開会挨拶	山形大学 医学部長　上野義之
13:35→14:05	重粒子線がん治療の動向（仮）	山形大学理事・副学長　山形大学東日本重粒子センター長　根本建二
14:05→14:10	休憩	
14:10→14:40	重粒子線がん治療と医療ツーリズム（仮）	山形大学教授（人文社会科学部担当） 山形大学人文社会科学部附属やまがた地域社会研究所長　山田浩久
14:40→14:50	質疑応答	
14:50→14:55	閉会挨拶	山形大学 人文社会科学部長 山形大学エクステンションサービス推進本部 統括責任者　是川晴彦

申込方法

右記のURLもしくはQRコードから、パソコンやスマートフォンから専用フォームにアクセスをして、必要事項をご記入の上、送信してください。受講をお申し込みの方には、ZoomのミーティングID・パスコードを前日までにメールでお伝えいたします。

申込締切：12月1日（水）

お申し込み専用フォームURL
https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/area/education/002/20211204

【お問い合わせ先】山形大学エクステンションサービス推進本部　☎023-628-4779　yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

主催　山形大学医学部 東日本重粒子センター EAST JAPAN HEAVY ION CENTER FACULTY OF MEDICINE・YAMAGATA UNIVERSITY 山形大学医学部附属病院

エクステンションサービス推進本部 YEX Yamagata University Extension service organization

後援　山形大学医学部先端医療国際交流推進協議会、山形県、山形市、山形県市長会、山形県町村会

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学 Yamagata University

令和３年（2021年）11月4日

2021年度「奥の細道マイスター養成講座【教養講座】」受講者募集

【本件のポイント】

- 2021年度「奥の細道マイスター養成講座【教養講座】」の受講者募集を開始します。
- 今回受講者を募集するのは「教養講座」です。奥の細道を幅広く学びたい方向けの講座になります。
- 教養講座の受講料は8,000円、講義はオンラインで行います（見逃し配信有）。受講受付は12/27（月）まで。

【概要】

「奥の細道マイスター養成講座【教養講座】」の受講者を募集します。奥の細道を幅広く学びたい方向けの教養講座になります。旅に出ることがままならない今、芭蕉の旅を追体験しながら、東北地方の歴史と文化を学び、東北だけでなく日本に住む私たちのアイデンティティを再確認することは、今だからこそ必要な学びだと考えます。山寺芭蕉記念館のボランティアガイドを志す方には「ガイド認定講習」（申込・受講料別途）もご用意しております。教養講座の受講料は 8,000 円、講義はオンラインで行います（見逃し配信有）。専用フォームからお申込みください。

【講座の概要】

「芭蕉みちのくの旅を学び　東北の歴史と文化の語り部に」

海外旅行はおろか、日本国内の移動も自由にできなくなり、2 年の歳月が過ぎようとしています。新型コロナウイルス感染症が流行する前に気軽に行けていた「旅」が、私たちの生活にたくさんの喜びと刺激を与えてくれていたことに改めて気づかされました日々でした。

332 年前、現代とは異なる困難を乗り越えて東北地方を巡った松尾芭蕉にとって、旅がいかなるものだったかは、『奥の細道』という不朽の名作によって知ることができます。旅に出ることがままならない今、芭蕉の旅を追体験しながら、東北地方の歴史と文化を学び、東北だけでなく日本に住む私たちのアイデンティティを再確認することは、今だからこそ必要な学びだと考えます。そして、自分が身に着けた知識をさまざまな人々に伝え、交流する喜びを得られるボランティアガイドの養成を行います。

本講座は奥の細道を幅広く学びたい方々向けの「教養講座」と、山寺芭蕉記念館のボランティアガイドを志す方向けの「ガイド認定講習」の二つのプログラムを実施します。「教養講座」のみの受講も可能です。山形大学の教員が特別な教材を用意し、ガイド講習ではマンツーマンでの指導も行います。

ご参加いただいた皆さんが、松尾芭蕉をとおして、東北の歴史と文化の魅力を知り、伝える喜びに触れる機会をもつことを目指しています。

【講師】山形大学教授　山本陽史（日本文学）、山形大学准教授　佐藤琴（博物館学、日本美術史）
【場所】オンライン（Zoom）【対象】一般・大学生・高校生　【定員】150　【受講料】8,000円
【受講受付期限】2021年12月27日（月）【お申し込み方法】専用フォームからお申し込みください。
https://www.ocans.jp/yamagata-u?fid=hOhuoeO6

お問い合わせ
山形大学エクステンションサービス推進本部
TEL　023-628-4779　　メール yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

【プログラム】

・教養講座　奥の細道を幅広く学ぶプログラム

1 日目　2022 年 1 月 8 日（土）

10:15〜11:00　江戸時代の俳句と明治以降の俳諧はどう違う？｜山本陽史
11:15〜12:00　松尾芭蕉の文事｜山本陽史
13:00〜13:45　「松島の月心にかかりて」奥の細道の旅のきっかけとなった松島とは｜佐藤琴
14:00〜14:45　奥の細道はどんな旅だったか 1　江戸〜岩沼｜山本陽史

2 日目　2022 年 1 月 9 日（日）

10:15〜11:00　奥の細道はどんな旅だったか 2　仙台〜象潟｜山本陽史
11:15〜12:00　奥の細道はどんな旅だったか 3　新潟〜大垣｜山本陽史
13:00〜13:45　多賀城碑を見て涙した松尾芭蕉｜佐藤琴
14:00〜14:45　与謝蕪村筆「奥の細道図屏風」絵画にみる「奥の細道」受容｜佐藤琴
14:45〜15:00　山寺芭蕉記念館ボランティアガイドについて｜奥の細道マイスターの会

山形大学 Yamagata University

YEX Yamagata University Extension service organization

2021年度

奥の細道

マイスター養成講座

芭蕉みちのくの旅を学び 東北の歴史・文化の語り部に

教養講座

期日 **2022年1月8日(土)・9日(日)**

受講料 **8,000円** ★オリジナル教材含む

場所 Zoomによるリモート講義
（見逃し配信あり）

対象 一般・大学生・高校生｜150名
（Zoomに接続できる方）

募集期間 2021年11月4日(木)~12月27日(月)

主催 国立大学法人山形大学

共催 公益財団法人山形市文化振興事業団
奥の細道マイスターの会

お申し込み

山形大学エクステンションサービス推進本部 e-mail yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp tel. 023-628-4779

2021年度

奥の細道マイスター養成講座

芭蕉みちのくの旅を学び　東北の歴史・文化の語り部に

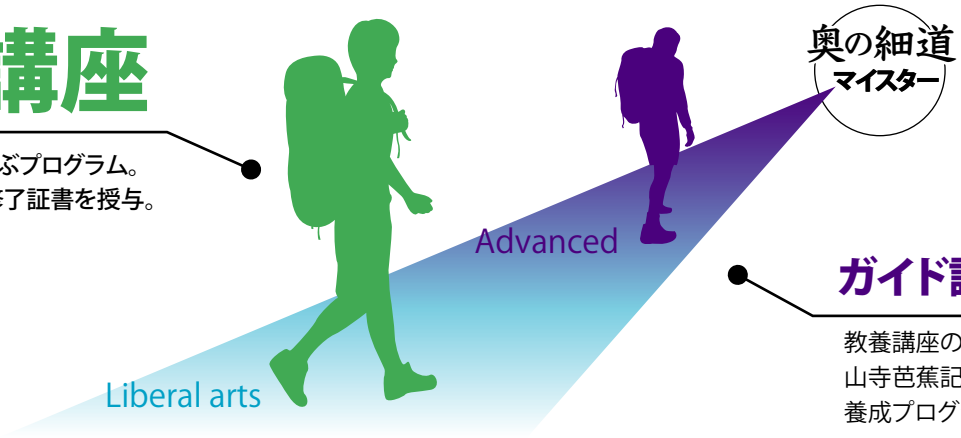
海外旅行はおろか、日本国内の移動も自由にできなくなり、2年の歳月が過ぎようとしています。「旅」が、私たちの生活にたくさんの喜びと刺激を与えてくれていたことに改めて気づかされる日々です。

332年前、現代とは異なる困難を乗り越えて東北地方を巡った松尾芭蕉にとって、旅がいかなるものだったかは、『奥の細道』という不朽の名作によって知ることができます。芭蕉の旅を追体験しながら、東北地方の歴史と文化を学び、東北だけでなく日本に住む私たちのアイデンティティを再確認することは、今だからこそ必要な学びだと考えます。そして、ボランティアガイドの資格を取得すれば、自分が身に着けた知識をさまざまな人々に伝え、交流する喜びを得られることでしょう。

本講座は奥の細道を幅広く学びたい方々向けの「教養講座」と、山寺芭蕉記念館のボランティアガイドを志す方向けの「ガイド認定講習」の二つのプログラムを実施します。「教養講座」のみの受講も可能です。山形大学の教員が特別な教材を用意し、ガイド講習ではマンツーマンでの指導も行います。ご参加いただいた皆さんが、松尾芭蕉をとおして、東北の歴史と文化の魅力を知り、伝える喜びに触れる機会をもつことを目指しています。

教養講座

奥の細道を幅広く学ぶプログラム。
全講義聴講者には修了証書を授与。



ガイド認定講習

教養講座の修了者を対象とした
山寺芭蕉記念館のボランティアガイド
養成プログラム（希望者のみ）。

教養講座

1.8（土）

10:15〜11:00　江戸時代の俳句と明治以降の俳諧はどう違う?｜山本陽史
11:15〜12:00　松尾芭蕉の文事｜山本陽史
13:00〜13:45　「松島の月心にかかりて」　奥の細道の旅のきっかけとなった松島とは｜佐藤琴
14:00〜14:45　奥の細道はどんな旅だったか1　江戸〜岩沼｜山本陽史

1.9（日）

10:15〜11:00　奥の細道はどんな旅だったか２　仙台〜象潟｜山本陽史
11:15〜12:00　奥の細道はどんな旅だったか３　新潟〜大垣｜山本陽史
13:00〜13:45　多賀城碑を見て涙した松尾芭蕉｜佐藤琴
14:00〜14:45　与謝蕪村筆「奥の細道図屏風」　絵画にみる「奥の細道」受容｜佐藤琴
14:45〜15:00　山寺芭蕉記念館ボランティアガイドについて｜奥の細道マイスターの会

ガイド認定講習

教養講座修了者対象の上級プログラムです。本課程の修了者は「奥の細道マイスター」に認定され、山寺芭蕉記念館のボランティアガイドの資格を得ます。

期日（予定）　2022年2月27日（日）・3月13日（日）

場所　山寺芭蕉記念館
〒999-3301 山形市大字山寺字南院4223
HP http://yamadera-basho.jp

受講料（予定）　12,000円

対象　奥の細道マイスター養成講座の教養講座を修了した方で、山寺芭蕉記念館のボランティアガイドを志す方。

講習科目（予定）

資料の見方・取り扱い方｜くずし字の読み方入門｜ガイド実演とワンポイントアドバイス｜個別指導｜認定試験｜修了証書「奥の細道マイスター」授与

講師

山本陽史
山形大学教授（日本文学）

佐藤　琴
山形大学准教授（博物館学、日本美術史）

山形大学エクステンションサービス推進本部
e-mail yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp　tel. 023-628-4779

お申し込み

QRコードまたはURLからお申し込みください。受講料のお支払い、Zoomの接続情報、受講方法等詳細は、お申し込み後にメールでご案内いたします。

https://www.ocans.jp/yamagata-u?fid=hOhuoeO6

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

令和３年（2021）11月4日

令和３年やまがたハイブリッド環境展に参加

～山形大学の３Ｒワークショップを開催～

【本件のポイント】

●令和３年やまがたハイブリッド環境展においてワークショップを開催します。

●山形大学学生がワークショップで子供たちに物の大切さやごみ減量化の必要性等についての理解を促し、３R推進の意識醸成を図ります。

●将来の3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進の担い手となる小中学生等を主な対象として、それら若年層への効果的な波及効果が見込まれる大学生等の柔軟な発想を取り入れた3Rに関するワークショップです。

【概要】

令和３年やまがたハイブリッド環境展は、山形県において環境問題に取り組む事業者・団体・行政等が、環境に配慮した製品や環境技術に関する情報発信を行い、地球温暖化対策や自然との共生、3R に関する学び・啓発の場を提供することで、参加者一人ひとりが自らのライフスタイルを見直す契機とするとともに、再生可能エネルギー等に関する理解を深め、循環型社会の形成及びカーボンニュートラルの実現に向けた取組みを推進する手段として実施します。

今回のワークショップは参加者が環境問題について考える機会を提供し、SDGｓ、循環型社会及びカーボンニュートラルに対する理解を深めるために対面方式及びオンラインでプラスチックの性質やリサイクルのための手法を体験してもらいます。

この企画は、コロナウィルス感染症拡大予防のため人数制限を設け、原則として事前申し込みによる参加とさせていただきます。

【講座内容】

開催日時　：　令和３年１１月２３日（火）　１１時 ～１１時３０分
開催場所　：　山形大学ＳＣＩＴＡセンター、オンライン
募集人員　：　対面方式　２０名　オンライン方式　２０名
募集対象　：　小学生（３年以上）・中学生
実施内容　：　「プラスチックの分類実験からりサイクルを学ぼう！」
・山形大学学生によるプラスチックの性質やリサイクルの方法について実験の実演と説明。
・山形県内で実際に行われているプラスチックのリサイクルの紹介。

【申込方法等】　申し込みフォームから事前登録
参加料　無料
※詳細は別添のチラシをご覧ください。

お問い合わせ
学術研究院　教授　栗山　恭直　（理学部担当／有機化学・光化学）
TEL　023-628-4586（教員居室）
メール　kuriyama@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学の3R ワークショップ

11/23 (火) 11：00

11月4日13：00～申し込み開始！

〈場所〉　山形大学　SCITAセンター
30分程度を予定しております

〈参加費〉　無料

〈申込〉　小中学生対象
先着40組（対面20組＋オンライン20組）
11月14日までにQRコードからお申し込みください

オンライン

対面

✉ お問い合わせ：yamadai3r.1123@gmail.com